

ライフスタイルの変革による脱炭素社会の構築事業



【令和5年度予算額 600百万円（600百万円）】

国民が自ら積極的に脱炭素行動に動きだすためのライフスタイルイノベーションを起こします。

1. 事業目的

- ① 2030年46%削減、2050年カーボンニュートラルに向け、脱炭素なライフスタイルへの変革を推進するため、行動科学の知見を活用したナッジ手法のうち、効果が実証された手法の社会実装を拡大させる。
- ② 国民のライフスタイル変革を実現するため、自治体、企業、団体等と連携しながら、脱炭素につながる新しい豊かな暮らし創りを強力に後押し、新たな消費・行動の喚起と国内外での製品・サービスの需要創出につなげていく。

2. 事業内容

2030年46%削減等に向けた脱炭素なライフスタイルへの変革促進のため、以下の事業を実施する。

(1) ナッジ手法の社会実装の促進

過去のナッジ事業により一定の効果が実証された下記のナッジ手法について、引き続き社会実装を推進する。具体的には、自らの設定した温室効果ガス削減目標達成等に向け、ナッジ手法を活用し、消費者、社員等の行動変容に取り組もうとする企業・自治体等に対し支援を行うことにより、ナッジ手法の社会実装を拡大させる。

①他の世帯のエネルギー使用実態や個別の省エネアドバイスを記載した省エネレポート、②省エネ家電等の環境配慮型商品の購入や切り替えを促すウェブ広告や自治体リーフレット、③ドライバーの運転に基づいたエコドライブのアドバイス、④行動科学に基づいた参加体験型の環境教育プログラム、⑤宅配便の再配達防止のための商品発送通知 等

(2) 脱炭素なライフスタイルへの変革に向けた情報発信等

①COOL CHOICE運営による危機意識醸成も含めた総合的な情報発信、②日常生活における具体的な行動の選択肢とメリットを国民に提示する「ゼロカーボンアクション30」の普及および削減効果やメリットの表示等の改善・データ整理、③個別診断に基づき対策を助言する「家庭エコ診断制度」、④断熱リフォーム等と呼びかける「おうち快適化チャレンジ」、⑤オンラインイベント等の効果的かつ発信力ある媒体での積極的情報発信、等の展開により、脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを後押しする。

3. 事業スキーム

- 事業形態 (1) 委託事業、間接補助事業 (2) 委託事業
- 委託先等 委託事業：民間企業・団体、補助事業：地方公共団体、民間企業・団体
- 実施期間 平成29年度～

4. 事業イメージ

ナッジ等の行動科学の知見等を活用した行動変容の促進

省エネレポートのイメージ

お客様のガスと電気のご使用量は、省エネ上手なご家庭を35%上回っています。

😊 大変良い
😊 良い
😐 ふつう

省エネ上手なご家庭
お客様
よく似たご家庭

この商品の省エネ性能は？
★★★★☆
2つ星!
10年間で使った電気の料金は205,000円*
ほかの商品と電気料金も比較してみましょう

新しい生活を始めるおすすめ
省エネ生活 始めてみませんか?
LED照明への取り替え
省エネ生活 始めてみませんか?
冷感庫も買おうなら
約8.4%の電気料金を削減できる*

新しい生活を始めるおすすめ
省エネ生活 始めてみませんか?
あなたの暮らしが異常気象の被害をくらわないように
省エネ生活 始めてみませんか?
「未来のために、今選ぼう!」

脱炭素につながる新しい豊かな暮らしの後押し

脱炭素につながる新しい豊かな暮らしの10年後

住宅の断熱化
省エネ家電
LED照明
電気自動車
公共交通機関
断熱リフォーム
サステナブルファッション
自転車
断熱リフォーム
断熱リフォーム
断熱リフォーム

毎月3万6千円削減(年43万円) 一日1分1秒 1年間削減電力量は約388kWh

ゼロカーボンアクション30
COOL CHOICE
家庭エコ診断制度
おうち快適化チャレンジ
オンラインイベント

「みんなでやろう快適化チャレンジ」
「みんなでやろう快適化チャレンジ」